



富士レークホテル Resort & Village



富士山と河口湖を望む富士レークホテル

- 本社所在地：山梨県南都留郡
富士河口湖町船津1番地
- 事業概要：宿泊・飲食・ベーカリー・
パストリーの経営
- 常時使用する従業員：113名
(2026年2月時点)
- 現在の売上高：18億円
(2026年2月期)
- 法人番号：3090001009987
- Web：https://www.fujilake.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
井出 泰済

富士の麓を心ゆくまで堪能できるResortを創り、国内外のお客様を魅了するとともに、地域観光に携わるすべての人の物心両面の幸せを実現する

「富士の麓にResortを築く」という1932年創業の“志”を継承し、国内はもとより伸長著しい世界旅行需要を確実に取り込みます。基幹宿泊施設の高質化を図りつつ、周辺の遊休資産を利活用し、飲食、アクティビティなど様々なResort体験を楽しんで頂けるよう展開し、「富士の麓を堪能できるResort」を構築します。同時に、観光従事者（弊社従業員に限らず、地域全体の観光事業従事者）の「豊かで、幸せな生活」を確立し、将来において他産業に比べ遜色ない待遇を具現化して参ります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2040年に売上高100億円を目指す。
既存ホテルの付加価値と収益性を高め成長基盤を築き、ホテルを核に宿泊・飲食・物販・体験事業を地域一体に展開します。将来的には周辺地域やM&Aを通じ、そのスキームを面展開し「麓に暮らすような滞在」を実現し、事業成長を地域の活性化と従業員の成長・待遇向上に繋げる。

課題

- ・既存施設の収容力に依存しない、新たな収益源の確立
- ・原価高への対応とDX化による生産性・収益性の向上
- ・事業拡大とDX化を担う人材の確保・育成と社内定着
- ・地域事業者との連携強化と、周遊・長期滞在需要の創出
- ・多拠点運営やM&A後の統合を支える管理体制の確立

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・施設改修とDX推進により、滞在価値・客単価と労働生産性を高め、オーダービュッフェで食の多様化・原価高に対応し、高収益な運営モデルを築く。
- ・地域の遊休化している不動産を再生し、滞在化に対応した宿泊特化型施設と飲食・文化体験拠点を周辺に整備する。
- ・M&Aで取得した拠点を、運営ノウハウを活かした本事業モデルを展開する。
- ・地域と連携した滞在・回遊の仕組みを各所へ広げ、地域活性化と収益増を実現する。

実施体制

- ・社長直轄の経営企画チームが全体戦略と投資計画を統括する
- ・事業毎に責任者と推進チームを置き、計画を具体化する
- ・部門横断でDX化を進め、業務標準化と情報の一元化を図る
- ・宿泊・飲食・製造部門が連携し、人材と設備を有効活用する
- ・管理指標を共有し、各拠点の品質・生産性・収益を管理する
- ・管理職とDX推進人材を育成し、多拠点への展開を支える
- ・地域事業者・専門家・金融機関と連携し、事業拡大を進める